

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	播磨町		代表者名	播磨町長 佐伯 謙作	
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画総務部企画課	連絡先電話番号	079-435-0356
担当者役職	主事	担当者氏名	土田 健登	連絡先E-mail	
住所	675-0182 兵庫県播磨町東本荘1丁目5番30号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	マイナンバーカード利活用事業
概要	当町では、令和6年度よりマイナンバーカードの利活用について検討を行うワーキンググループを設置している。そこで、マイナンバーカードの機能や特徴などを改めて再確認し、先進自治体の事例も参考にしながら、当町にあった利活用方法を検討するにあたり、地域情報化アドバイザーにアドバイスを求める。		
支援を求める分野	マイナンバー		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	437	令和7年2月17日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月4日	支援・助言(実地)	10時00分	11時30分	
				活動時間(分)	90
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	今回の打ち合わせにおいては、従来より当町の抱えていた業務改善に関する課題が再認識できた。特に業務フローについては、複数課にまたがる業務改善を進めるために活用する重要性を認識できた。また、DX人材の確保についても新たな発見を得ることができ、今後はさらなる組織改善のためにDX人材の発掘にも力を入れていきたいと考えているようになった。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	当町では、令和6年度よりマイナンバーカードの利活用について検討を行うワーキンググループを設置している。そのなかで、今後のマイナンバーカードの利活用案として、窓口や申請での活用を決定した。しかしながら、当町の窓口の現状としては窓口間の連携も不十分であり、マイナンバーカードを活用した申請を導入したとしても、出生・転入などの一連の申請を効率的に行うことができないことが懸念される。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	マイナンバーカードを活用した窓口DXの先進事例や、失敗事例の把握を行い、今後の事業展開手法を確認し、効率的で最大の効果を得られるように筋道を形成する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	窓口DXの進め方における、個別の目標設定や工程、DX推進人材の確保についてのアドバイスを 受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	当町においては、窓口DXを行うためのワークフロー作成に着手ができていなかったため、複数課 にまたがる出生・転入などのライフイベントに関する申請を住民目線でスムーズに行うための窓口改 革が行うことができていなかった。そこで、今後のフロー作成についての指導を受け、スケジュール や工程など、実施に関する解像度が高まった。 また、DX人材の確保についても、従来とは違う公募方法について検討することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ①事業に係る計画書等を策定できた <input type="checkbox"/> 従来より、複数課での調整については話がまとまらずに進まないことが多かったが、その原因につ いて指導を受けたことで、大卒ながら今後のタスク・スケジュールの作成ができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本事業においては、今後マイナンバーカードを利活用することを前提として、窓口改革の実施を行 う方針である。したがって本来の目的であるマイナンバーカードの利活用に関する事業決定という部 分では支援依頼の目標は達成しているが、今後決定した事業の見通しが明確にたっているわけではな い。今後はそういった点を解決していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある <input type="checkbox"/> 事業の方向性として、マイナンバーカードの利活用を行い、住民が窓口で行う申請を便利にするこ とを目指す。システム導入については、システム標準化が完了した後となる。そこで、それまでは システム導入前の下地作りを行っていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	マイナンバーカードを行政サービスに活用することにより、住民が日ごろ行っている行政手続きを 便利にし、行政手続きの煩雑さから解放されることを目指す。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
Web打ち合わせのため、写真撮影は失念しておりました。		